

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月6日

上場会社名 株式会社ジーエス・ユアサ コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 6674 URL <https://www.gs-yuasa.com/jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 CEO (氏名) 村尾 修
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート室 部長 (氏名) 松島 弘明 TEL 075-312-1211
 四半期報告書提出予定日 2019年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	90,082	△6.4	2,040	△30.1	2,873	△9.2	1,473	3.0
2019年3月期第1四半期	96,256	9.6	2,917	1.4	3,165	△3.3	1,430	14.0

（注）包括利益 2020年3月期第1四半期 △1,939百万円（－％） 2019年3月期第1四半期 1,397百万円（△51.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	18.03	—
2019年3月期第1四半期	17.40	16.19

（参考）のれん等償却前営業利益 2020年3月期第1四半期 2,604百万円（△24.6％） 2019年3月期第1四半期 3,456百万円（1.2％）

当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

2018年10月1日付で5株を1株に株式併合しております。これに伴い、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算出してあります。

当第1四半期連結累計期間の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載していません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2020年3月期第1四半期	379,312	200,606	45.3
2019年3月期	384,243	207,708	46.4

（参考）自己資本 2020年3月期第1四半期 171,852百万円 2019年3月期 178,320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	3.00	—	35.00	—
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	15.00	—	35.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2019年3月期につきましては、株式併合を反映した1株当たり期末配当金を記載し、年間配当金の合計は「—」として記載してあります。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	200,000	2.3	5,000	△28.1	6,000	△19.9	3,000	△13.1	36.54
通期	430,000	4.1	20,000	△11.7	22,000	△11.0	12,000	△11.3	146.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	82,714,942株	2019年3月期	82,714,942株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,580,447株	2019年3月期	880,229株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	81,724,007株	2019年3月期1Q	82,197,353株

2018年10月1日付で5株を1株に株式併合しております。「期中平均株式数（四半期累計）」につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
(四半期損益の推移)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般の動向

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては雇用および所得環境が良好であり個人消費は堅調に推移しましたが、中国は米国との通商問題などを背景に景気は減速傾向となりました。また、欧州においては雇用環境が改善傾向にあり個人消費は底堅く推移したものの、Brexitをめぐる先行き不透明な状況が依然として続いております。一方、わが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続しましたものの、世界経済の減速懸念から景気の先行きは不透明な状況にあります。

このような経済状況の中、当社グループでは、主として自動車電池事業における海外の販売減少による影響などにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は、900億82百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて61億73百万円減少(△6.4%)しました。これに伴い、営業利益は20億40百万円(のれん等償却前営業利益は26億4百万円)と前第1四半期連結累計期間に比べて8億77百万円減少(△30.1%)、また経常利益も28億73百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて2億91百万円減少(△9.2%)しました。これに対し、親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用が減少したことなどにより14億73百万円(のれん等償却前親会社株主に帰属する四半期純利益は20億37百万円)と前第1四半期連結累計期間に比べて42百万円増加(3.0%)しました。

②報告セグメント別の動向

当第1四半期連結会計年度より、一部の連結子会社等のセグメントを変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(自動車電池)

国内における売上高は、新車向けの販売数量は堅調に推移したものの鉛価格の下落に伴う販売価格の低下の影響により、191億29百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて5億33百万円減少(△2.7%)しました。セグメント損益(のれん等償却前)は、減価償却費などの経費増加により、6億円の利益と前第1四半期連結累計期間に比べて2億92百万円減少(△32.8%)しました。

海外における売上高は、主として中国での市況悪化に伴い販売が減少したことに加え、円高の影響もあり、408億56百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて33億98百万円減少(△7.7%)しました。セグメント損益は、鉛価格の下落や経費減少などがありましたが、上記売上高減少の影響により27億6百万円の利益と前第1四半期連結累計期間に比べて6百万円減少(△0.2%)しました。

これにより、国内・海外合算における売上高は、599億85百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて39億31百万円減少(△6.2%)しました。セグメント損益(のれん等償却前)は、33億6百万円の利益と前第1四半期連結累計期間に比べて2億98百万円減少(△8.3%)しました。

(産業電池電源)

売上高は、産業用リチウムイオン電池の販売が好調に推移したものの、照明機器の販売減少や一部事業譲渡の影響などにより156億16百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて5億42百万円減少(△3.4%)しました。セグメント損益は、鉛価格の下落の影響などにより、1億55百万円の損失と前第1四半期連結累計期間に比べて1億34百万円改善しました。

(車載用リチウムイオン電池)

売上高は、主としてプラグインハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売が減少したことにより、102億82百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて12億5百万円減少(△10.5%)しました。セグメント損益は、売上高減少の影響に加えて12Vリチウムイオン電池事業立上げに伴う費用増加により、7億98百万円の損失と前第1四半期連結累計期間に比べて9億12百万円減少しました。

(その他)

売上高は、一部特殊用途向け電池の一時的な生産減少などにより、41億98百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて4億93百万円減少(△10.5%)しました。全社費用等調整後のセグメント損益は、主として管理部門の経費減少などにより2億52百万円の利益と前第1四半期連結累計期間に比べて2億25百万円増加(831.0%)しました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、海外子会社におけるIFRS第16号「リース」の適用による使用権資産等の増加があったものの、売上債権の回収が進んだこと、固定資産の減価償却、保有株式の時価下落による減少などにより、3,793億12百万円と前連結会計年度末に比べて49億30百万円減少しました。

負債は、仕入債務等の営業債務が減少したものの、海外子会社におけるIFRS第16号「リース」の適用によるリース債務の増加、産業用電池電源における前受金の受領により、1,787億6百万円と前連結会計年度末に比べて21億71百万円増加しました。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益による増加がありましたが、配当金の支払や自己株式の取得、為替レートの変動による為替換算調整勘定の減少、株価下落に伴うその他有価証券評価差額金の減少などにより、2,006億6百万円と前連結会計年度末に比べて71億2百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2019年3月31日	当第1四半期連結会計期間 2019年6月30日
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,618	24,057
受取手形及び売掛金	70,225	60,743
電子記録債権	4,168	3,811
商品及び製品	37,069	37,154
仕掛品	16,869	16,803
原材料及び貯蔵品	13,888	13,413
その他	10,467	11,974
貸倒引当金	△316	△284
流動資産合計	175,990	167,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	54,759	53,597
機械装置及び運搬具（純額）	33,383	31,859
土地	22,406	22,319
リース資産（純額）	646	608
使用権資産	—	4,765
建設仮勘定	8,450	10,185
その他（純額）	4,555	4,305
有形固定資産合計	124,202	127,641
無形固定資産		
のれん	3,347	3,009
リース資産	1,098	1,176
その他	5,911	3,869
無形固定資産合計	10,357	8,055
投資その他の資産		
投資有価証券	56,062	54,278
退職給付に係る資産	11,668	12,517
繰延税金資産	2,502	2,649
リース債権	—	2,646
その他	3,714	4,113
貸倒引当金	△332	△337
投資その他の資産合計	73,614	75,867
固定資産合計	208,174	211,564
繰延資産	78	75
資産合計	384,243	379,312

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2019年3月31日	当第1四半期連結会計期間 2019年6月30日
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,160	32,154
電子記録債務	17,115	15,694
短期借入金	9,905	7,818
コマーシャル・ペーパー	3,000	4,000
未払金	10,823	8,489
未払法人税等	3,247	1,446
設備関係支払手形	1,036	1,153
その他	16,450	18,940
流動負債合計	96,739	89,698
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	34,034	33,222
リース債務	1,239	6,320
繰延税金負債	12,067	11,445
再評価に係る繰延税金負債	928	928
退職給付に係る負債	4,274	4,285
その他	7,252	12,806
固定負債合計	79,796	89,008
負債合計	176,535	178,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,021	33,021
資本剰余金	55,313	55,313
利益剰余金	77,664	76,272
自己株式	△2,315	△3,694
株主資本合計	163,684	160,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,879	13,466
繰延ヘッジ損益	△81	△19
土地再評価差額金	2,137	2,137
為替換算調整勘定	△488	△2,878
退職給付に係る調整累計額	△1,809	△1,765
その他の包括利益累計額合計	14,635	10,940
非支配株主持分	29,388	28,753
純資産合計	207,708	200,606
負債純資産合計	384,243	379,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年6月30日
売上高	96,256	90,082
売上原価	75,747	70,528
売上総利益	20,509	19,554
販売費及び一般管理費	17,592	17,514
営業利益	2,917	2,040
営業外収益		
受取利息及び配当金	342	392
持分法による投資利益	407	854
その他	166	108
営業外収益合計	917	1,355
営業外費用		
支払利息	140	172
為替差損	223	112
その他	305	237
営業外費用合計	668	522
経常利益	3,165	2,873
特別利益		
固定資産売却益	205	24
投資有価証券売却益	0	14
その他	2	1
特別利益合計	209	40
特別損失		
固定資産除却損	144	47
固定資産売却損	3	40
その他	8	13
特別損失合計	157	101
税金等調整前四半期純利益	3,216	2,812
法人税等	977	758
四半期純利益	2,239	2,053
非支配株主に帰属する四半期純利益	809	580
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,430	1,473

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 自 2018年4月 1日 至 2018年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自 2019年4月 1日 至 2019年6月30日
四半期純利益	2,239	2,053
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,358	△1,406
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△656	△2,143
退職給付に係る調整額	45	43
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,591	△488
その他の包括利益合計	△842	△3,993
四半期包括利益	1,397	△1,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	815	△2,222
非支配株主に係る四半期包括利益	581	282

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は2019年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式700,000株の取得を行っております。この結果、当第1四半期累計期間において、自己株式が1,378百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が3,694百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間からIFRS第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」という。)を適用しております。

これにより、借手のリース取引については、原則として、使用権資産及びリース債務として認識しております。また、貸手のリース(サブリース)については、原資産の使用に伴うリスクと経済価値のほとんどすべてを移転する場合には、ファイナンス・リースとして、原資産の認識を中止し、正味リース投資未回収額をリース債権として認識しております。

その結果、当第1四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「使用権資産」が4,765百万円、流動負債の「その他」が950百万円及び固定負債の「リース債務」が5,061百万円増加しており、正味リース投資未回収額として流動資産の「その他」が255百万円及び固定資産の「リース債権」が2,646百万円増加しております。また、土地使用権1,668百万円は「使用権資産」に振替えております。なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置で認められている、適用開始による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。使用権資産の測定方法はリース債務の測定額に前払及び未払リース料を調整する方法を採用しており、期首利益剰余金への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池	計		
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	19,662	44,254	63,916	16,159	11,488	91,565	4,691	96,256
セグメント間の内部 売上高又は振替高	358	1,123	1,482	2,948	104	4,535	△4,535	—
計	20,020	45,378	65,399	19,108	11,592	96,100	155	96,256
セグメント利益又は損失 (△)	892	2,712	3,605	△290	113	3,429	27	3,456

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△474百万円であり、セグメント間取引消去△201百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△273百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 上表のセグメント利益の合計額と連結損益計算書上の営業利益2,917百万円との差は、のれん等の償却費539百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池	計		
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	19,129	40,856	59,985	15,616	10,282	85,884	4,198	90,082
セグメント間の内部 売上高又は振替高	335	941	1,277	2,979	102	4,359	△4,359	—
計	19,465	41,797	61,262	18,596	10,385	90,244	△161	90,082
セグメント利益又は損失 (△)	600	2,706	3,306	△155	△798	2,352	252	2,604

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△528百万円であり、セグメント間取引消去△270百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△258百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. 上表のセグメント利益の合計額と連結損益計算書上の営業利益2,040百万円との差は、のれん等の償却費564百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、製品を軸としたセグメント業績をより適切に把握するために、組織の管理区分の見直しを行った結果、従来「自動車電池海外」に含まれていた一部の連結子会社等について、「産業電池電源」にセグメントを変更しております。

前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントにより記載しております。

3. 補足情報

(四半期損益の推移)

2020年3月期(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2019/4-6)	②第2四半期 (2019/7-9)	③第3四半期 (2019/10-12)	④第4四半期 (2020/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	90,082	—	—	—	—	—	—
営業利益	2,040	—	—	—	—	—	—
経常利益	2,873	—	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,473	—	—	—	—	—	—

2019年3月期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2018/4-6)	②第2四半期 (2018/7-9)	③第3四半期 (2018/10-12)	④第4四半期 (2019/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	96,256	99,158	110,230	107,442	195,415	305,646	413,089
営業利益	2,917	4,038	7,358	8,339	6,956	14,315	22,654
経常利益	3,165	4,327	8,308	8,927	7,492	15,800	24,728
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,430	2,023	6,636	3,433	3,454	10,090	13,524

2018年3月期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2017/4-6)	②第2四半期 (2017/7-9)	③第3四半期 (2017/10-12)	④第4四半期 (2018/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	87,805	96,402	112,776	113,966	184,208	296,984	410,951
営業利益	2,876	3,109	7,734	8,198	5,986	13,721	21,920
経常利益	3,273	3,174	7,763	7,176	6,447	14,210	21,387
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,254	1,295	3,668	5,231	2,549	6,218	11,449

2017年3月期(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2016/4-6)	②第2四半期 (2016/7-9)	③第3四半期 (2016/10-12)	④第4四半期 (2017/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	75,364	83,535	95,428	105,277	158,899	254,328	359,605
営業利益	2,988	4,184	7,501	8,431	7,173	14,674	23,106
経常利益	2,875	3,774	8,007	7,887	6,650	14,657	22,545
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,840	2,271	4,460	3,656	4,111	8,572	12,229

2016年3月期(自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2015/4-6)	②第2四半期 (2015/7-9)	③第3四半期 (2015/10-12)	④第4四半期 (2016/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	81,642	89,507	94,159	100,301	171,149	265,308	365,610
営業利益	3,109	3,705	7,338	7,756	6,814	14,153	21,909
経常利益	3,044	4,004	7,220	7,146	7,049	14,269	21,416
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	951	2,665	3,010	2,402	3,616	6,627	9,030